

2009年度

科目名	日本文化史				
担当教員	阪田 宗彦				
配当	教育3			コード	23630
開期	通年	講時	火曜日3限	単位数	4
授業テーマ	正倉院宝物				
目的と概要	正倉院宝物がもつその由緒と特質及び現状について詳述し、7・8世紀の東西交渉史の一端を理解し、改めて21世紀の東アジア文化史のなかでの位置付けを考えてみようとするものです。スライド・ビデオを常時使用。				
成績評価法	レポート・平常点で評価します。特には小テストを行うこともあります。				
テキスト	使用しない。必要な参考文献は明示する。				
参考書	使用しない。				
履修に 当たっての 注意・助言					
講義計画					
<p>○ 正倉院宝物</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 名称「正倉院」</li> <li>2. 位置</li> <li>3. 正倉院宝物・校倉</li> <li>4. 奈良時代の政争</li> <li>5. 聖武天皇と藤原氏</li> <li>6. 国分寺の造営</li> <li>7. 東大寺大仏開眼</li> <li>8. 正倉院宝物のはじまり</li> <li>9. 正倉院宝物の由緒(献物帳)</li> <li>10. 北倉納物</li> <li>11. 中倉納物</li> <li>12. 南倉納物</li> <li>13. 献物第1号御袈裟 九領</li> <li>14. 赤漆文櫛木厨子とその内容品</li> <li>15. 正倉院の鏡</li> <li>16. 正倉院の年中行事品</li> <li>17. 正倉院の屏風</li> <li>18. 正倉院の楽器</li> <li>19. 正倉院の遊戯具</li> <li>20. 正倉院の金属器</li> <li>21. 正倉院の文房具</li> <li>22. 正倉院の伎楽面と楽服</li> <li>23. 正倉院からみる造形意匠と製作技法</li> <li>24. 用途からみた正倉院宝物の内容及び伝存の量</li> <li>25. 正倉院宝物の特質</li> <li>26. 正倉院宝物伝存の意義</li> <li>27. 正倉院宝物の復元事業</li> <li>28. 正倉院宝物の保存科学</li> <li>29. 正倉院宝物に見られる文様</li> <li>30. 7・8世紀のわが国の外来文化の受容</li> </ol>					